

春日山は春日大社の神山として1000年以上も伐採が禁じられていたから、カシ、シイ類を主体とした常緑広葉樹林の原始林になっているんだ。屋間でも暗い山の中には、モリアオガエル、ヒメハルゼミ、カスミサンショウウオなど珍しい動物が生息しているよ！



しかまるくん
©奈良市観光協会

季節限定コース
春日山原始林から若草山へ
【水谷神社から若草山下山コース】

【若草山開山期間】3月中旬～12月中旬
お問い合わせ ☎0742-22-0375 奈良公園事務所

知ろう！ 見よう！ 歩こう！

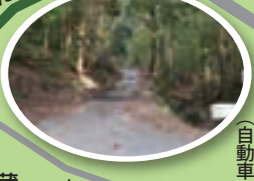
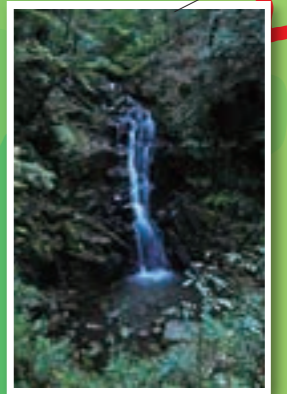


- トイレ
- 駐車場
- 学校
- 寺社
- 休憩所
- 交番所
- 滝
- 神社
- 樹木



～コースを歩かれる方へ～
◎マナーを守りましょう！

- ・指定された区域以外に立ち入ったり、果樹・草花などを取らないで下さい。
- ・コース上では、飲み物や食べ物などを購入する場所が一切ありませんので、お弁当、水筒、雨具などは忘れずご用意下さい。但し自分のゴミは必ず持ち帰って下さい。
- ・火気は厳禁です。
- ・歩きやすい服装とスニーカーやトレッキングシューズなどの履きなれた靴、そして両手がフリーになるバッグ等の身軽な服装で歩いて下さい。
- ・特に春から夏にかけて、山中では、マムシ・ヤマビル等に注意してください。



石畳の道に石仏を訪ねる
【旧柳生街道 滝坂・剣豪の里コース】

※詳細は裏面をご覧ください。

このマップは、鹿や春日山原始林の環境に配慮し、「鹿紙」とベジタブルインクを利用して制作しています。

歴史のロマンを巡る 柳生街道

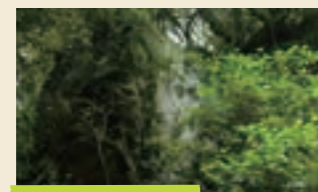
柳生の里と奈良の都をつなぐ古道として名高い柳生街道。江戸時代、生活物資を牛馬の背に乗せた民衆や、柳生道場を目指すあまたの剣豪が往来したといわれています。いにしへの石仏を拝み、苔むした石畳を踏みしめれば、往時の光景がすっと目に浮かぶようです。さあ、出かけましょう！大自然と歴史が生んだ、神秘的な古道へ…

柳生街道(滝坂の道)コース 約12km

【近鉄・JR奈良駅～滝坂の道(地獄谷)～忍辱山バス停】



寝仏 (ねぼけ)
近くの大きな岩に彫られた石仏が転がり落ちたものといわれている。



夕日観音
夕日に映える姿が神々しいことからこの名が付けられた。弥勒信仰が盛んだった鎌倉時代の作。



首切り地蔵
お地蔵さんの首に切れ目があり、柳生十兵衛の弟子、荒木又右衛門が試し切りをしたという伝説が残る。

柳生街道(剣豪の里)コース 約9km

【忍辱山バス停～南明寺～芳徳寺～家老屋敷～柳生バス停】



円成寺 (えんじょうじ)
運慶の初期作である国宝の大日如来が多宝塔に安置されている。秋の紅葉時は、立体的な自然美に目を奪われる。
お問い合わせ ☎0742-93-0353



夜支布山口神社 (やぎやまくらじんじや)
こもりした森の中に行む延喜式内社。

地獄谷石窟仏 (聖人窟)

石を切り出したあとの洞に線刻したもので、石窟にはえた苔の緑と石仏に残る朱が、えもいわれぬ美しさを見せる。

峠の茶屋

石切峠の近くにある茶店。家の鴨居には、古めかしい鉄砲やヤリが掛けられ、武芸者が飲み代のカタにしたという、神道無念流を図解した武芸帳がある。

ほうそう地蔵

ほうそう除けに作られたという高さ3mの石仏。元応元年(1319)の銘が認められ、借金棒引きをうった徳政一揆の銘文も興味深い。

柳生の里 花しょうぶ園

1万㎡の扇形の斜面に紫・白・黄など、色や紋様とどりの花しょうぶが咲き誇る。
開園/6月上旬～下旬
開花お問い合わせ/ ☎0742-94-0858

天乃石立神社

(あまのいわたてじんじや)
昼なお暗い谷に埋まるきんちゃく岩など4つの謎の巨岩がご神体。天の岩戸が飛んできたという伝説もうなずける迫力である。石舟斎が天狗と思つて斬ったという一刀石も大自然の不思議をまざまざと見る思いがする。

芳徳寺 (ほうとくじ)

柳生家の菩提寺。境内からは柳生の里を一望できる。本堂には宗矩、沢庵・列堂和尚の木像が祀られ、隣接の史料室では柳生藩の資料を展示している。寺の裏には石舟斎以下柳生一族が眠る墓地も。正木坂道場も剣豪の里らしいたたずまい。
お問い合わせ ☎0742-94-0204

家老屋敷

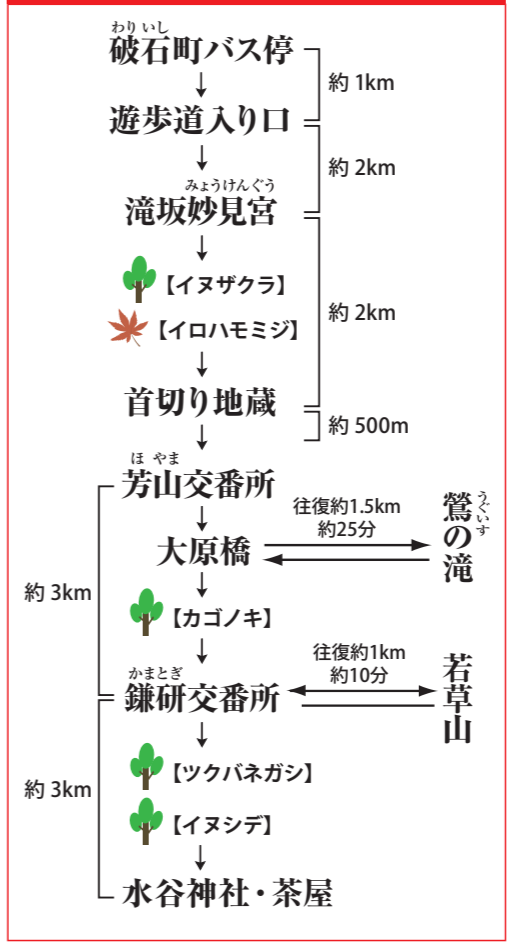


江戸時代末期、柳生一万石の家老であった小田山主幹の旧邸。現在は資料館として公開中。邸内は鴨居、屏風、間どりなど武家屋敷の様式をそのまま伝え、柳生藩士の生活やドラマ「春の坂道」のロケ風景などを紹介している。

柳生観光協会 ☎0742-94-0002

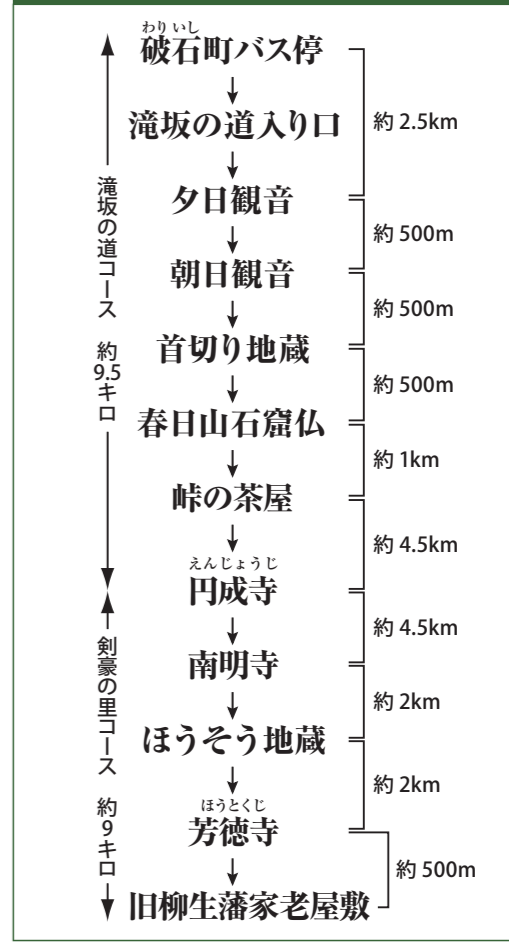
世界遺産に登録された春日山原始林

【周遊コース】
総キロ数11.5km / 所要時間約4時間30分



石畳の道に石仏を訪ねる

【旧柳生街道 滝坂・剣豪の里コース】
総キロ数18.5km / 所要時間約6時間30分



春日山原始林から若草山へ

【水谷神社から若草山下山コース】
総キロ数4.5km / 所要時間約2時間



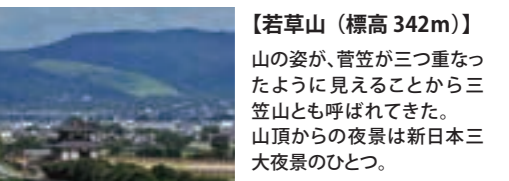
春日山原始林の樹木たち

【カゴノキ】
(クスノキ科カゴノキ属)
奈良奥山ドライブウェイ沿いの谷川面の小高い台地にある、まだらな鹿の子模様の木。よく陽のあたる所で息をするこの木は、この付近の山側斜面でも数本見られる。

【イロハモミジ】
(カエデ科カエデ属)
掌のように5～7つに分かれる葉の先を「いろはにほへ」と教えられたことからこの名前がついたと言われる。

【イヌザクラ】
(バラ科サクラ属)
普通のサクラと違い、白色の花が穂状につき、1～4本の花軸を出した、花軸の根元に葉がつかないサクラ。

【ツクバネガシ】
(フナ科コナラ属)
料理旅館の南側に、カエデやアセビが着生して息をする。すぐ傍の谷川には、『月日磐』と呼ばれている月と太陽の文様のある岩がある。



【若草山 (標高 342m)】
山の姿が、菅笠が三つ重なったように見えることから三笠山とも呼ばれてきた。山頂からの夜景は新日本三大夜景のひとつ。

【若草山開山期間】 3月中旬～12月中旬
お問い合わせ ☎0742-22-0375 奈良公園事務所